

議案審議

議案審議の
動画はこちら



釜石市特別職の職員の給与並びに旅費及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

問 職員が他人の自転車

を窃取して、酒気帯び運転をしたことを強く受け止めたことが提案理由だが、職員のプライベートの時間である。過去に監督責任者である市長、副市長が責任をとったことがあるか。

答 過去に職員のプライベートの関係で、責任をとったといった認識はない。

釜石市印鑑条例の一部を改正する条例

問 条例の改正内容について伺う。

答 主な改正は、在留カード及び特別永住者証明書とマイナンバーカードの一体化を可能とする

もの。法改正に合わせて、今後は印鑑登録証明の申請が、在留カード等でも申請できるようになる。

問 改正の対象となる在留者等の数とマイナンバーカードの保有率は。

答 対象となる在留者、永住者数は合わせて477人で、マイナンバーカード保有者は342人、率は71・7%である。

令和8年度釜石市一般会計補正予算

問 四季彩イベント開催事業について、船の復元性検査は10月の釜石まつり開催に間に合うか。

答 復元性検査は9月上旬までに完了予定で、開催期日には十分間に合う。海事コンサルタントへの委託により船の図面作成や検査立ち会いを進め、安

全確保に加え曳き船祭り本来の姿を取り戻し、地域一丸となって観光誘致とにぎわい創出を図りたい。

請願

請願の
動画はこちら



民生常任委員会

請願第1号 子どもに寄り添う時間を確保するための、2027年度府予算に係る意見書採択に関する請願書

審査の経過・結果

本請願の趣旨は、小中学生を取り巻く課題が多様化・深刻化する中、不登校児童生徒数の増加や教職員不足、教職志望者の減少等により、子ども一人一人に

丁寧に向き合う時間の確保が難しくなっているとして、国に意見書を提出していただきたいとするものです。委員会では、教職員をめぐる環境は引き続き厳しい状況にあることや、支援員は教員が担う授業や学級経営そのものを代替できるものではなく、教員の負担軽減にはなお課題が残ることを確認しました。また、

請願内容は本市の教育環境とも関わる問題として受け止められました。委員会での採決の結果、本請願は全会一致で採択すべきものと決しました。

起立多数で採択

討論

至誠の会は、以下の理由で本請願に反対します。

教育現場が様々な課題に直面しているとの問題意識は共有しますが、学級編制標準の引き下げなど教職員数の増加を中心とした解決

策には賛同できません。

学校現場の課題は複雑であり、教員数の増加のみで解決できるものではありません。教育政策は教員数の増減ではなく、子どもの学びの質の向上という視点で評価すべきです。そのため、人員拡充に先立ち、校務DXや専門人材との役割分担による業務改革を優先するとともに、現在進められている35人学級の効果を十分に検証すべきと考えます。請願内容の多くは令和6年12月に釜石市議会が可決した意見書と重複しています。

議会だよりでは随時
表紙写真を募集中です。

★応募先
gikaijimu@city.kamaishi.iwate.jp
(#を@に)

応募要項と
詳細は→

